

WEBアンケート調査（1/3）

《実施内容》

調査実施：R3.9.3～R3.9.7（5日間）

(GMOリサーチのオンラインパネル調査)

オンライン調査パネル
約2,247万人スクリーニング調査回答
関西圏居住者 19,680人本調査回答（新今宮駅利用者）**824名**
乗換／通過のみ利用者 **420名**
乗降利用経験者（乗換／通過含む） **404名**

<回答者の基本属性>

全体

男性 69.9% (平均年齢49.9歳)
女性 30.1% (平均年齢39.0歳)

乗換／通過のみ利用者

男性 63.6%、女性 36.4%

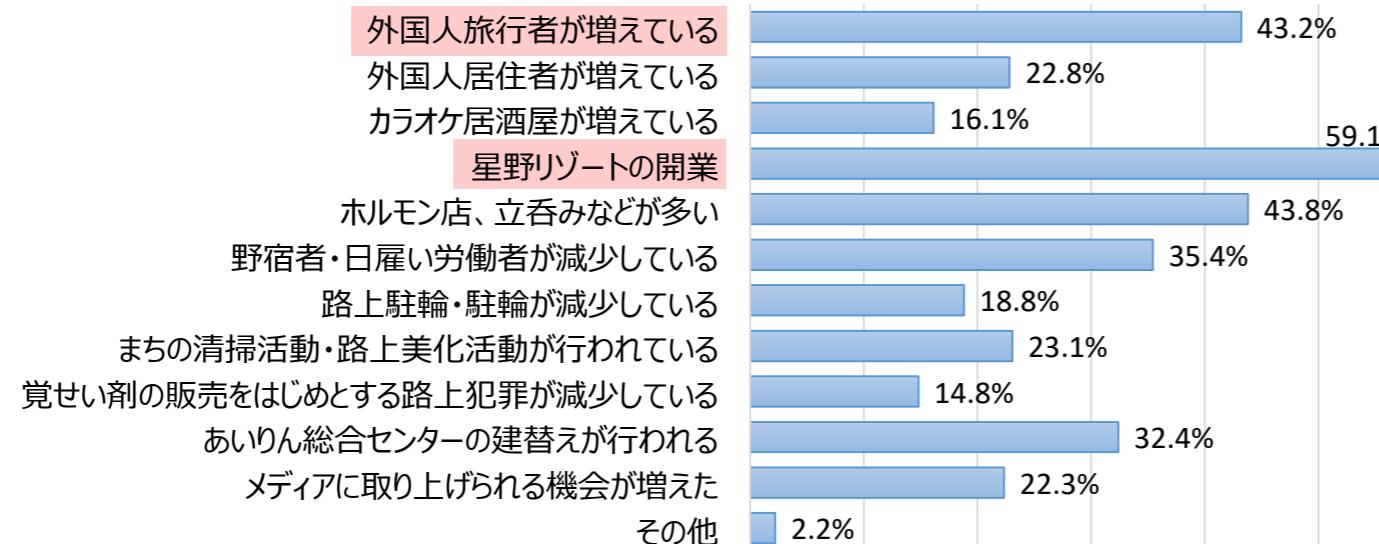
乗降利用経験者

男性 76.5%、女性 23.5%

《結果概要》

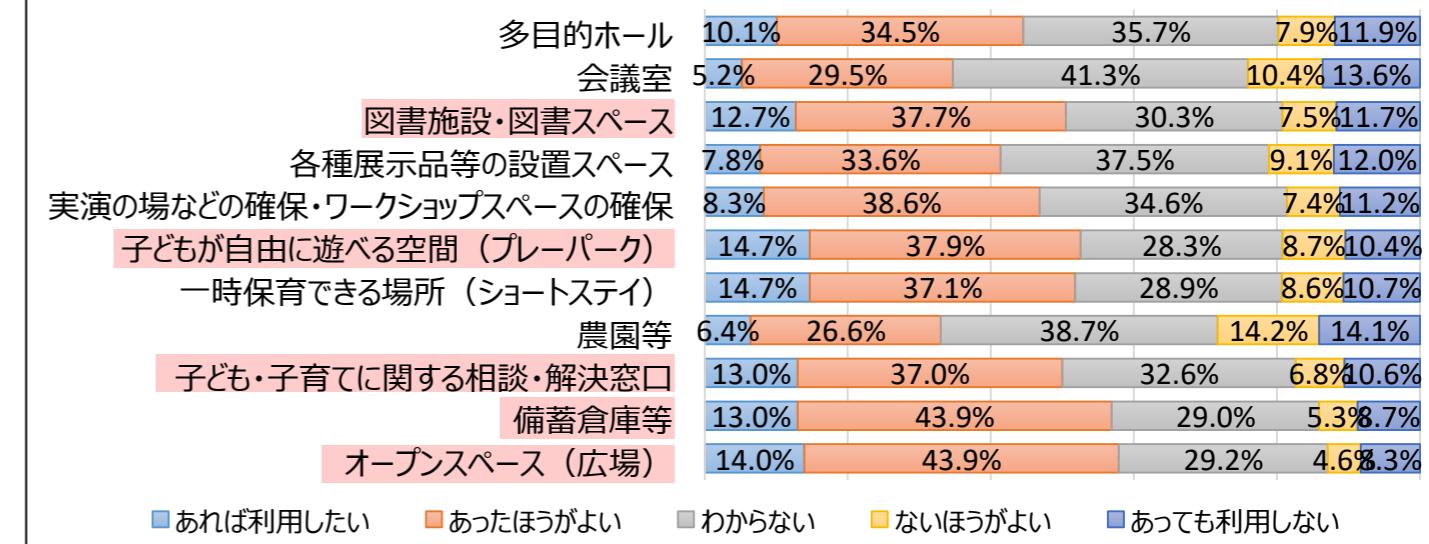
新今宮エリアの変化について（回答：824名）

- 星野リゾートの開業や外国人旅行者の増加などは認知されている一方で、環境美化活動の進展や外国人居住の増加などの最近の動きについては、まだ認知が広がっていない。



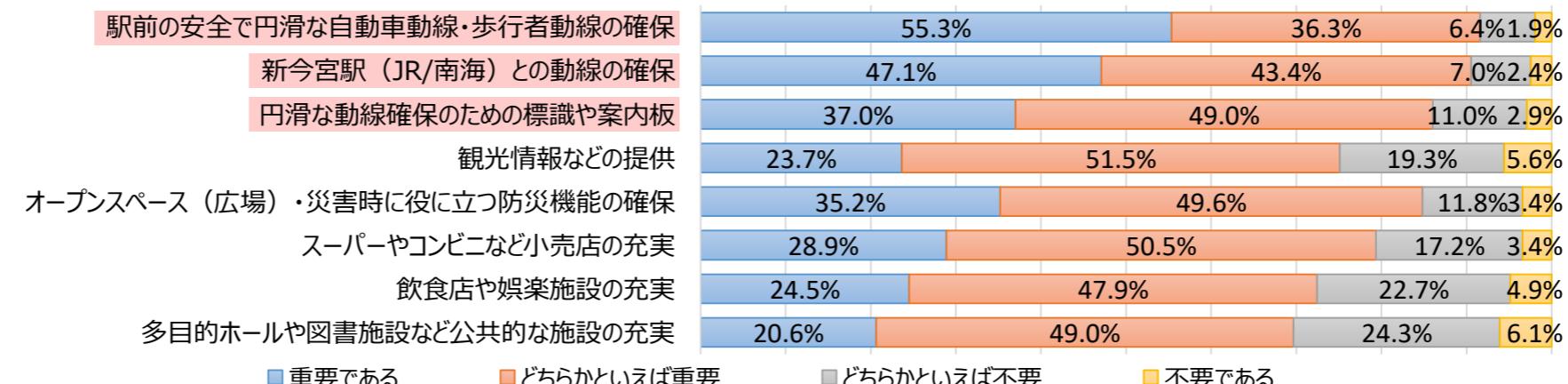
あいりん総合センター跡地における公共的な機能（回答：824名）

- 公共的な機能ニーズとしては、「**オープンスペース（広場）**」、「**備蓄倉庫等**」、「**図書施設・図書スペース**」、そして**子どもに関する項目**があることに対して、肯定的な回答が50%を超える。



新今宮駅前の空間・機能（回答：824名）

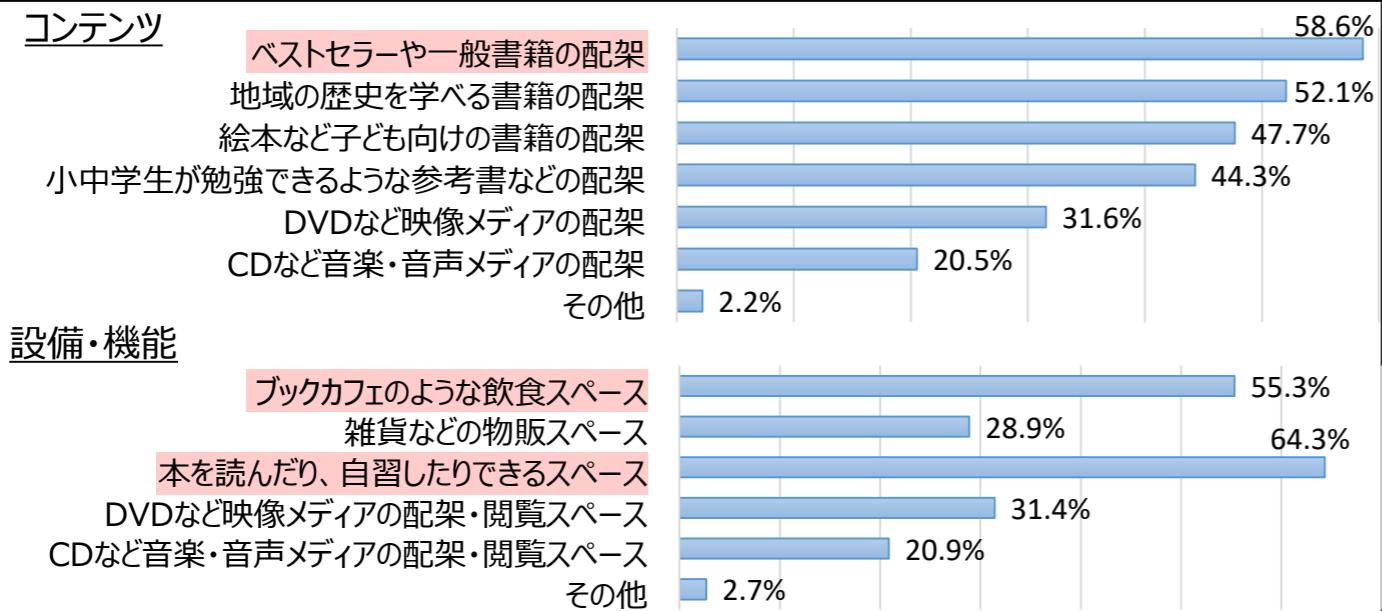
- 駅前空間に対するニーズとしては、**動線や案内**について重要と答える率が高い。一方で、観光情報、飲食店、公共施設のニーズは相対的に低い傾向にある



WEBアンケート調査（2/3）

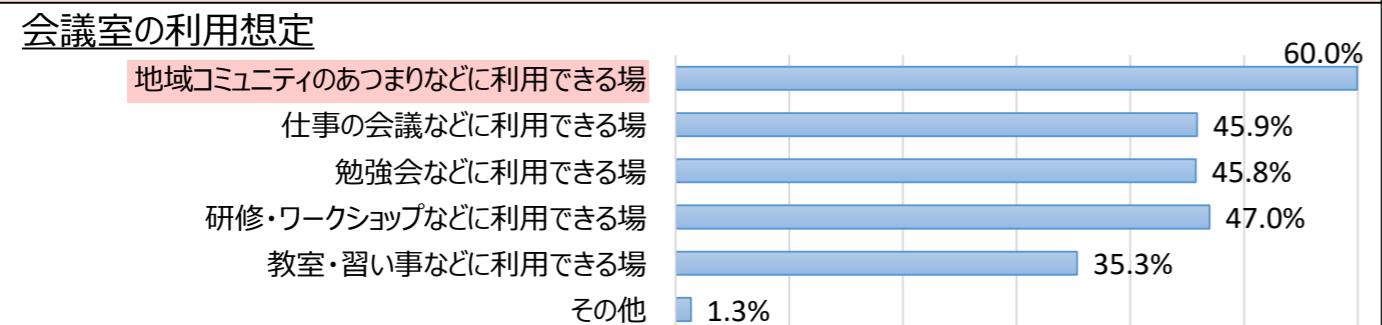
図書施設・図書スペースのニーズ・機能（回答：824名）

- コンテンツについては、**ベストセラーや一般書籍**の配架ニーズが高い。また図書スペースの空間としては、**自習スペース**という回答が最も多く、次に**飲食スペース**との回答が多い。



会議室・多目的ホール（回答：824名）

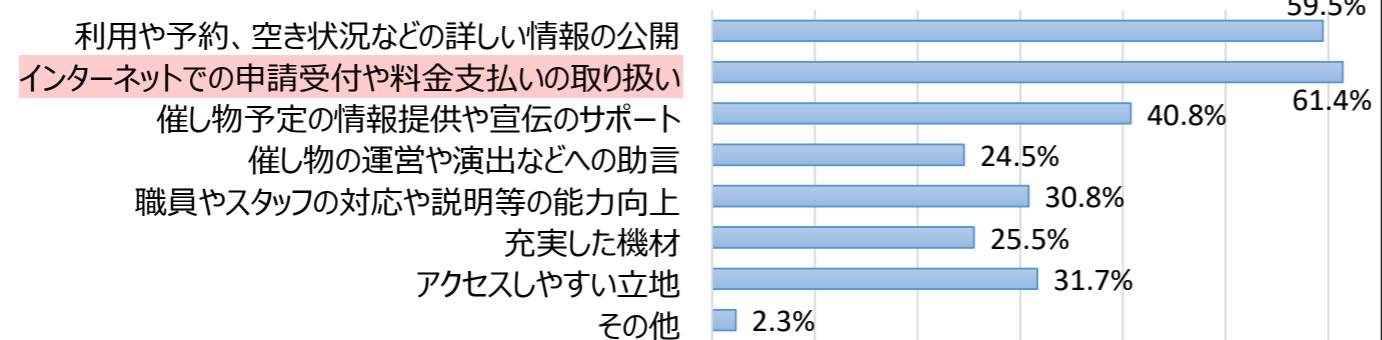
- 会議室の利用想定は、**地域コミュニティのあつまりに利用できる場**との回答が最も多い。
- 多目的ホールの利用想定は、**講演会・研修、多人数が集まる場**との回答が多く、映画や演劇などは低い。
- 利用しやすくなるポイントとしては、**インターネットの活用**に関する回答が多い。



多目的ホールの利用想定

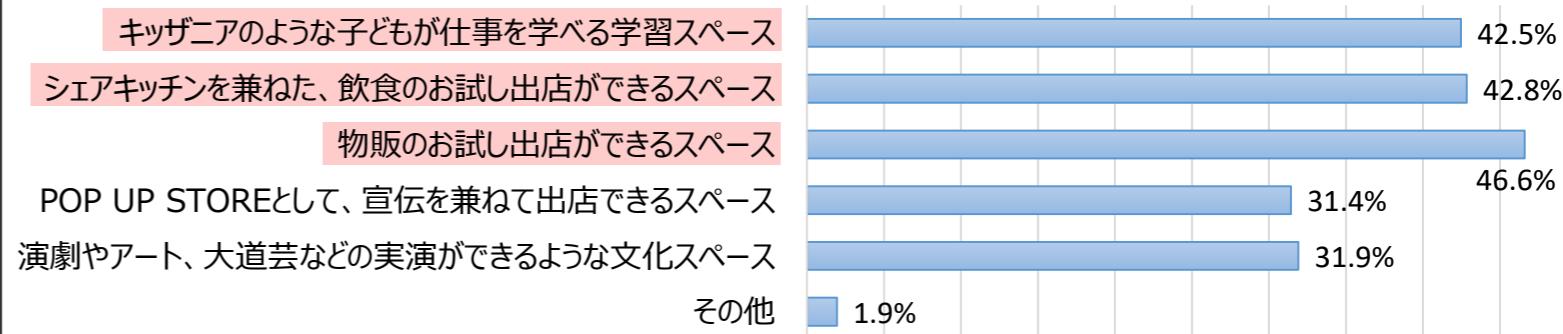


施設を利用しやすくする方法



実演の場・ワークショップスペースについて（回答：824名）

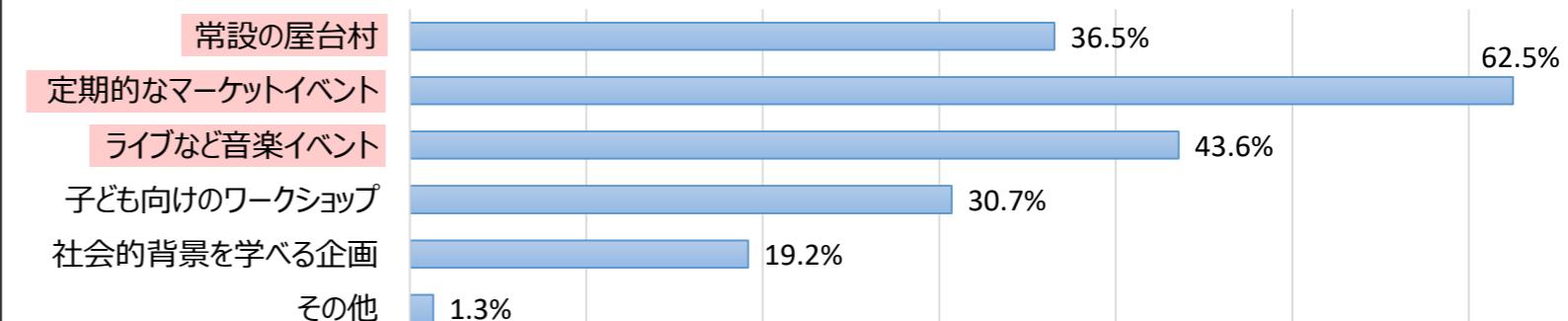
- 物販**に関する回答が最も多い。次に**飲食**に関するもの、**子どもが仕事を学べるスペース**が続く。
- POP UP STOREや演劇・アートに関する回答の割合は、低い。



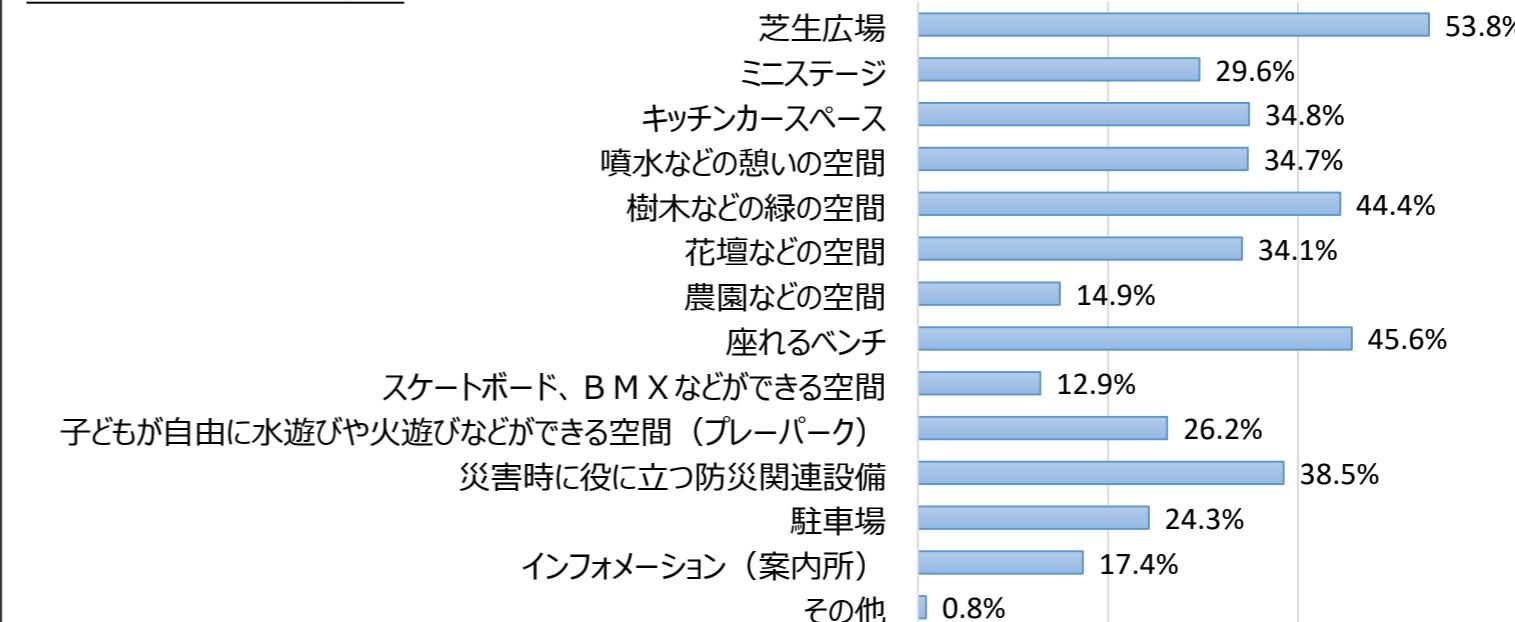
オープンスペースについて（回答：824名）

- オープンスペースの企画ニーズとしては、**定期的なマーケットイベント**（62.5%）という回答が多く、**常設の屋台村**（36.5%）**ライブなどの音楽イベント**（43.6%）より高い。

オープンスペースの企画



オープンスペースのありかた



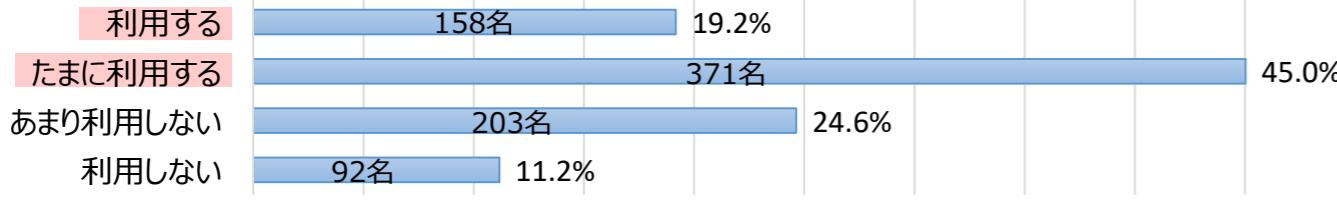
(次ページへ)

WEBアンケート調査（3/3）

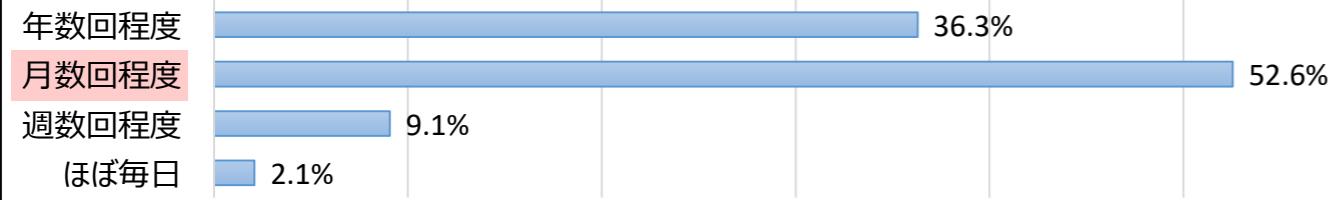
公共施設の利用について（回答：824名）

- 全体の**64.2%**が**利用する・たまに利用する**との回答。利用頻度は、**月数回程度の利用**が最も多い。
- 一方、**利用しない**との回答としては、**必要とする場面がない**との回答が過半数となっている。
- 利用料金については、**同種の公共施設の利用料**という回答が最も多い。

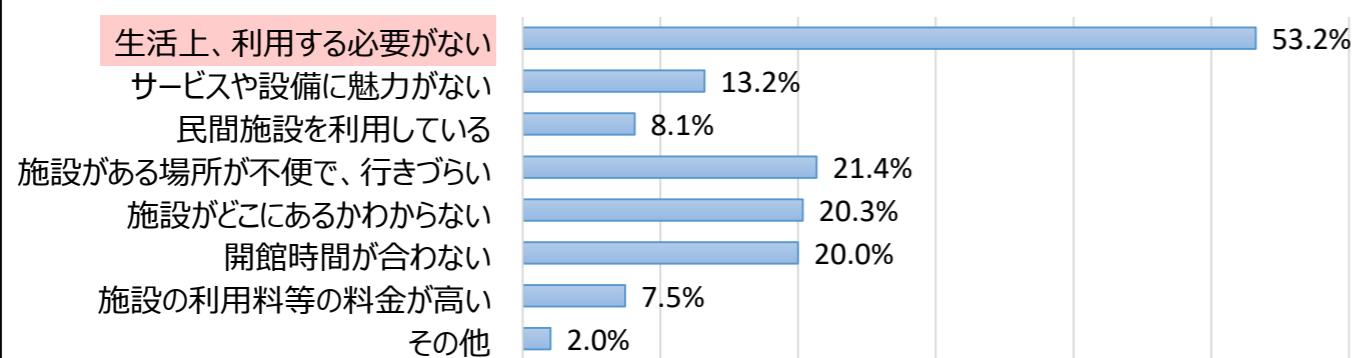
公共施設の利用状況



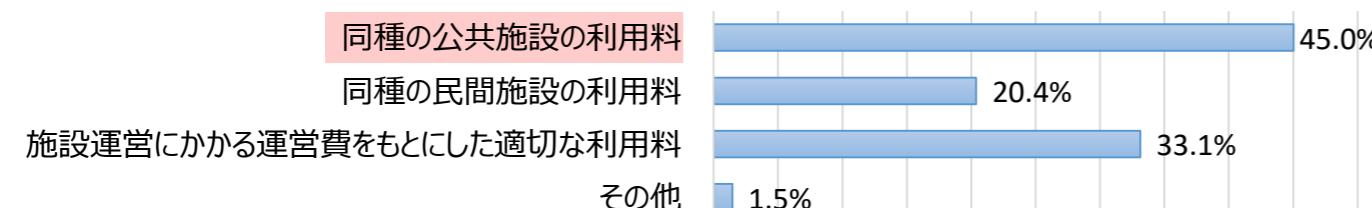
「利用する・たまに利用する方」の利用頻度（回答者：529名）



「利用しない・あまり利用しない方」の理由（回答者：295名）

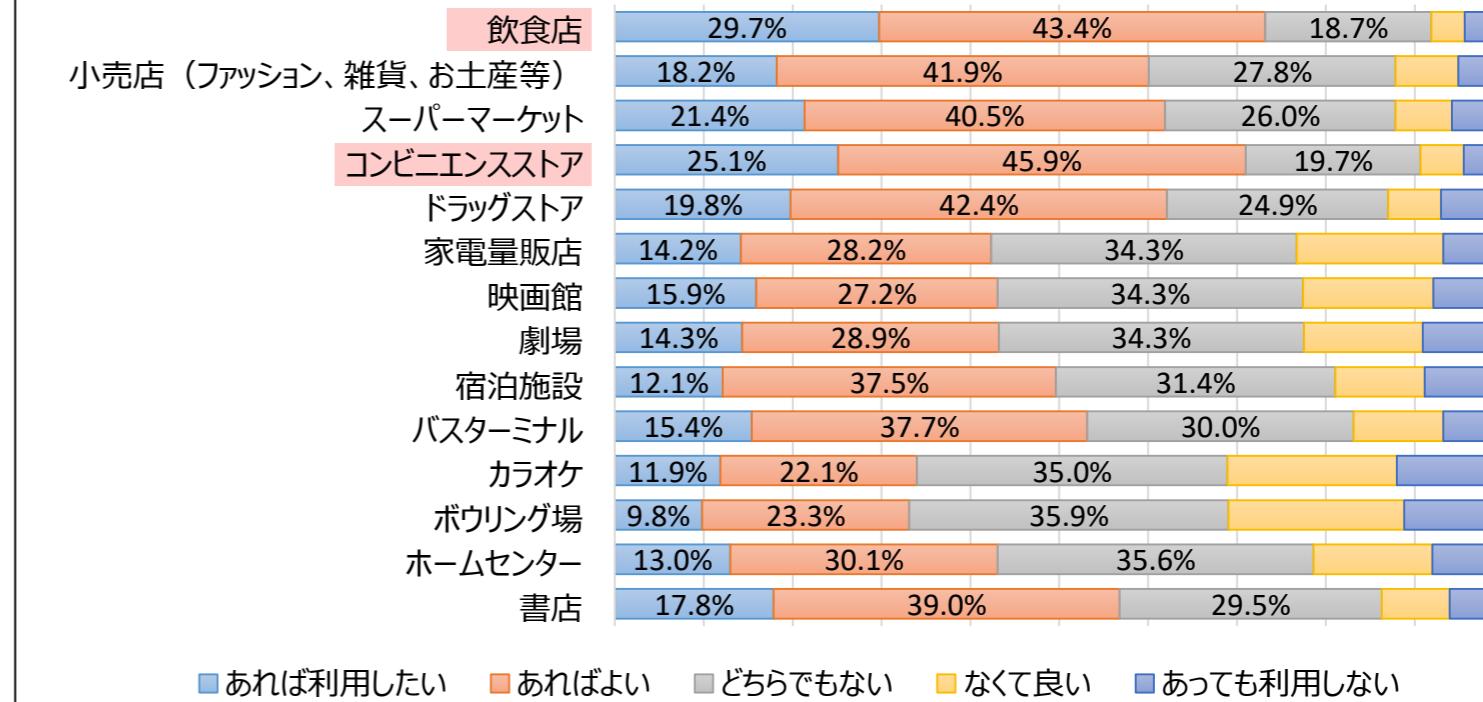


利用料金について



商業ニーズ（回答：824名）

- 商業ニーズとしては、**飲食店**が最も多く、次に**コンビニ**となっている。
- カラオケ、ボウリング場については、ニーズが低い。



駅前施設の回遊性の向上（回答：824名）

- カフェ・喫茶などのゆっくりできるサービス・空間、清潔なトイレ**との回答が最も多い。

